

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2016
(平成28年)

11

No.630



「日本で最も美しい村」連合フェスティバル2016 in まつざき (10/6~8)

「松崎の長八さん」の踊りを披露する松崎小学校1、2年生

「日本で最も美しい村」連合フェスティバル2016 in まつざき開催!

10月6日(木)から8日(土)にかけ、「日本で最も美しい村」連合フェスティバル2016 in まつざきが開催されました。

フェスティバルは、「日本で最も美しい村」運動に取り組む加盟町村や地域、企業サポーターが一堂に会し、交流を深め、今後のさらなる展開を図ることを目的に開催しているもので、全国57の町村・地域等から約300人の皆様が来町しました。



セレモニーでの記念撮影

臨時総会・新規加盟町村承認セレモニー

臨時総会では、北海道清里町、北海道中札内村、青森県作井村、青森県弘前市岩木の4地域の新規加盟が承認され、引き続き行われたセレモニーでは、各地域の代表者が「日本で最も美しい村」宣言を行い、連合会長、副会長からサッシュュ(たすき)と認定証が授与されました。

基調講演

セレモニーに引き続き、川勝平太静岡県知事による「美しい村づくりから美しい国づくりへ」と題した基調講演が行われました。

講演の中で知事は、松崎町の「蔵ら」や「桑葉茶」の取り組みやヨーロッパの美しい村、明治時代からこれまでの



静岡県知事による基調講演

日本の歩みを踏まえて「画一的な金太郎飴のような時代は過去のものとなっており、加盟町村の持つ多様性が新しい時代の進むべき方向性を示している」と述べ、各加盟町村が個性を生かした村づくりを進めていくことが重要であるとなりました。

基調講演には町民をはじめ県の「ふじのくに美しく品格のある邑」関係者等、多くの皆様が傍聴に訪れ、フェスティ

バルを盛り上げました。

また、講演に先立ち松崎小学校1・2年生70人による「松崎の長八さん」が披露され、元気いっぱい踊る姿に会場は和やかになりました。

町内現地視察

現地視察は、長八美術館、重文岩科学校、桜葉漬け工場を巡るコースや「道の駅」花の三聖苑、旧依田邸を巡るコース、ジオクルーズや石部棚田を巡るコースの3コースで行われました。

参加者は、町民ボランティアガイドによる説明を受け、町の歴史や海山の自然、地域づくりの現場を見学しました。

また、岩地地区でのお出迎え、コースの各所では伊豆文サポートをはじめ岩科女性会、石部女性会、まちづくりやろうじや協議会の皆様による特産品を使ったおもてなしや花



▶花の会による花飾り



石部棚田でのおもてなし

の会による花飾りが行われ、参加者一同心のこもったおもてなしに感動していました。

全体交流会

全体交流会は、松崎高等学校校体育館で伊豆松崎牛原太鼓の勇壮な演奏をオープニングに開会しました。

会場では、町健康づくり食生活推進協議会をはじめ、野ぎくの会、JA伊豆太陽女性部、まちづくりやろうじや協議会や商工会の皆様により、キミナゴやひじき、サザエ、伊勢海老を使った料理や松崎ブランド品が振る舞われました。

また、石部区の皆様による餅つきでは、連合会長にも参



松崎高等学校での全体交流

加いただき、交流会が大いに盛り上がりました。

なお、交流会には、美しい伊豆創造センターのご支援により、「食の祭典」として、7市6町の特産品ブースを設置するとともに連合加盟の地域からは、ジェラート、饅頭、日本酒、焼酎等、多くの商品を提供いただきました。



7市6町ブース



浜田連合会長も参加した餅つき

連合学習会

8日の最終日に行われた連合学習会は、静岡大学の藤本穰彦准教授をコーディネーターに「これから10年の美しい村運動について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

町の取り組みや課題について紹介した後、地域おこし協力隊として石部棚田の保全活動に取り組んでいる有馬稔さんからは、棚田保全活動における人材確保の難しさや定住についての課題が述べられました。

また、大学として石部棚田の保全活動に当たっている常葉大学4年の青木日向子さん、堀井梓左さんからは、棚田ボランティアの活動のほか、「いっぷく亭」や「青空マルシェ」の取り組みが紹介され、連合の企業会員である富士ゼロックス㈱の柳原公揮さんからは、松崎町の「ふれあいといふや。」を拠点とした、企業と行政、住民の連携が紹介されました。

会場とのディスカッション

で、浜田会長（北海道美瑛町長）は、『これまでの10年は「世界で最も美しい村」連合や有識者との連携に取り組んできたが、これからは充実・発展（ステップ）の10年として、①日本の文化的財産を守り発展させる、②地域の資源を守る（食・文化・美しさ）、③地域に住む人が豊かな地域を自分たちが作っていくということがある必要であり、そのためには、国、県、企業、大学等との連携を強化した、新しいコーディネートの仕組みが重要である』と述べました。



これからの10年に向けたパネルディスカッション

今後のまちづくりに

3日間にわたる大きな行事でしたが、準備段階から町民をはじめ関係団体の皆様のご協力をいただき、盛会裏に終了することができました。心から厚くお礼申し上げます。

今回のフェスティバルを通して、全国の加盟町村や地域、企業サポーターの皆様は松崎町のまちづくりや町の魅力をお伝えするとともに、いろいろな場面での交流を通じて互いに学び、つながりを一層深めることができたと思います。

フェスティバル開催を契機に、町が「日本で最も美しい村」連合に加盟した意味を改めて考え、「日本で最も美しい村」連合の目指す、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくり、住民によるまちづくりを展開していきますので、皆様のご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964



第16回市町対抗駅伝大会の様子



しずおか市町対抗駅伝

松崎町代表チーム 登録選手決定！

12月3日(土) 10時スタート
みんなで応援しましょう！

県内35市町39チームが参加し、第17回静岡岡県市町対抗駅伝競走大会が12月3日(土)、静岡県庁をスタート、草薙陸上競技場をゴールとする11区間42・195キロのコースで行われます。

このほど、大会に参加する松崎町チームの登録選手が決定しました。

今年も町の部入賞を目標に、チーム一丸となり熱心な練習を重ねています。

松崎町民の代表として、懸命にタスキをつなぐ選手たちに練習・本番とも皆様のご声援をお願いします。

【問合せ】
教育委員会(42) 3971

コーチ

監督



高見 武彦さん
(アドホックヤマダ)



土屋 武彦さん
(松崎中教諭)

第4区 一般(女子)



山本 佳穂さん
(浜松医科大4年)



関 まどかさん
(松崎十字の園)

第3区 小学生(女子)



佐藤 彩音さん
(松崎小6年)



矢野 優歌さん
(松崎小6年)

第2区 小学生(男子)



山田 吏希くん
(松崎小6年)



奥村 海大くん
(松崎小6年)

第1区・第8区・第9区 中高生(女子)



佐野 春奈さん
(松崎高2年)



関 愛珠果さん
(松崎高2年)



高見 育美さん
(下田高3年)



矢野 瑞葵さん
(松崎中2年)



山田 采礼さん
(松崎中2年)

第5区・第7区・第10区 中高生(男子)



船津 慧悟さん
(松崎高2年)



大場 康平さん
(下田高3年)



竹内 和樹さん
(松崎高1年)

第6区 40歳以上(男女不問)



竹内 聡さん
(竹内園)



山本 峻矢さん
(松崎中2年)



深澤 颯さん
(松崎中3年)

第11区 一般(男子)



石田 達也さん
(河津町臨時職員)



船津 弘貴さん
(下田消防署)



三枝 まことさん
(清水西高教諭)



第17回大会松崎町チーム集合写真

まつぞぎっ子通学台宿



松崎小学校の4年生から6年生までの希望者41人が参加して、9月22日（木）から24日（土）の2泊3日の日程で、松崎高校の宿泊施設「龍門館」にて、「まつぞぎっ子通学台宿」を行いました。

1日目

初日は、夕食を各家庭で済ませてから龍門館へ集合し、開級式が行われました。

開級式では、サポーターとして子どもたちの活動を支援していただく皆様の紹介、通学台宿の目的や共同生活のルール等の説明の後、グループごとに自己紹介や翌日の夕食用食材の買い物相談が行われました。



開級式

2日目

2日目は、各家庭での生活より少し早起きをして、ふとんの整理や朝食作り、片付け、学校へ行くための身支度等を自分たちで行い、元気に登校しました。

授業終了後、子どもたちは、班ごとでサポーターの方と一緒に、予算内で夕食の材料やデザートを購入してから龍門館へ帰りました。



食材購入

龍門館到着後、うわばき洗い、お風呂掃除、夕食の準備等の家事を、それぞれサポーターの方の指導を受けながら協力して行いました。

夕食は、5班に分かれ、自分たちで買い揃えた具材でカレーを作りました。班ごとに工夫を凝らしたカレーができました。



カレー作り

夕食後は、全員で片付けを終わると、2班に分かれ、地域の方の指導のもと、煎茶体験を行い、お茶の作法を学びました。



煎茶体験

3日目

最終日となる3日目は、起床後、サポーターの方たちと一緒に朝食準備から始めました。みそ汁、ウィンナー炒め作りや配膳等、皆で役割を分担して家事を進めました。

朝食の片付けが終わると、荷物の整理等の帰りの準備をして、昼食のおにぎり作りを行いました。子どもたちは苦戦しながらも、一生懸命におにぎりの形を整えました。

その後、スポーツ推進委員の方たちの指導のもと、ニュースポーツ大会を行い、仲間と共に過ごした施設を清掃し、昼食で自分たちが作ったおにぎりを食べ、2泊3日の全日程を終えました。



ニュースポーツ大会

参加した感想

・はじめて自分でうわばきを洗って、きれいにできてうれしかった。

・サポーターの方に片づけられるものは先に片づけておくと手際よく食事の準備ができると思った。

・サポーターの方から料理のコツなどを教わっておいしーごはんができた。

「通学台宿」は、年齢の異なる小学生が、家庭を離れた環境で、共同生活しながら登下校するものです。日常生活に必要な生活能力を習得することや、子どもの活動を地域の大人が支援することにより交流を深め、地域と子ども・家庭をつなげることを目的としています。

「通学台宿」は、あなたが実施しても構いません。規模の要件もなく、スポーツ団体・地域の仲良しグループ・子供会でも実施できます。県から補助金も出ますので、興味・関心のある方は、ぜひお問い合わせください。

【問合せ】

教育委員会（42）3971

人事行政の運営等の状況

「松崎町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与等、人事行政の運営等の状況の概要についてお知らせします。

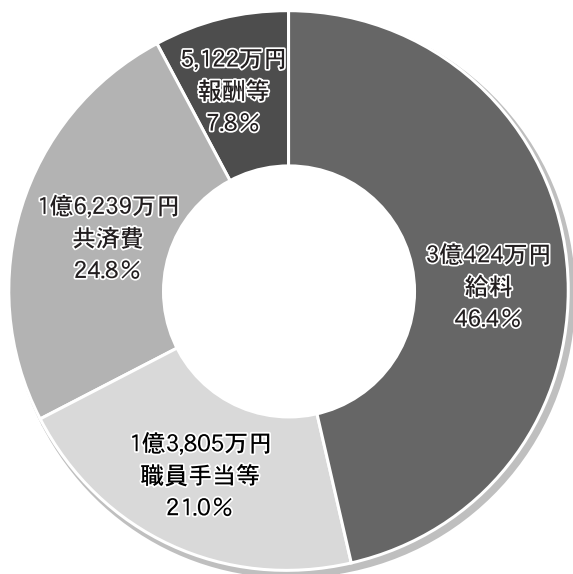
町職員の給与は、国および他の市町村等、ならびに民間事業所の給与等を考慮して定めるよう地方公務員法に規定されています。

この人件費には、町職員に支払われる給与のほか、町議会議員や各種委員等の特別職に支払われる給与、報酬も含まれています。

平成27年度普通会計決算に占める人件費の割合は17・2割を占め、内訳は左図に示すとおりです。

【問合せ】
総務課（42） 3963

平成27年度普通会計決算 人件費総額 6億5,590万円



●職員の平均給与月額・平均年齢

一般行政職		技能労務職	
平均給与月額	平均年齢	平均給与月額	平均年齢
310,654円	37歳9月	301,613円	51歳1月

(平成28年4月1日現在)

●給与費等の状況 (平成27年度普通会計決算)

職員数	給与費等				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
84人	2億7,711万円	3,547万円	1億257万円	4億1,515万円	494万円

※特別職・臨時雇用分は含んでいません。

●初任給

区分		金額
一般行政職	大学卒	176,700円
	高校卒	144,600円
過採用後の給料額	大学卒	188,600円
	高校卒	153,000円

(平成28年4月1日現在)

●特別職の報酬

区分	月額	期末手当	年間支給額
給料	町長	612,000円	10,229,580円
	副町長	495,000円	8,273,925円
	教育長	437,000円	7,304,455円
報酬	議長	273,000円	4,233,547円
	副議長	208,000円	3,225,560円
	議員	187,000円	2,899,902円

(平成28年4月1日現在)

●期末・勤勉手当

区分	6月	12月	計
期末	1.225月分	1.375月分	2.6月分
勤勉	0.8月分	0.8月分	1.6月分

(平成28年4月1日現在)

※役職により課長職15%、課長補佐・係長相当職10%、主任主査相当職5%が月額に加算されます。

●主な諸手当

区分	内容および支給単価
地域手当	支給なし
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外 6,500円 (配偶者がいない職員の1人目は11,000円) 16~22歳までの子の加算 5,000円
管理職手当	定額を支給 32,560円 (最高号給の25%以内)
宿日直手当	1回につき 4,200円

職員数、任免の状況等

●職員の採用、退職の状況（企業会計を含む）

区 分		平成26年度	平成27年度
採 用 者		4 人	5 人
退 職 者	定年退職	2 人	2 人
	普通退職	3 人	2 人

●普通会計職員の職員数

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	小 計	技能 労務職	合計
	主事 主事補	主任 主事	主任 主査	係長	課長 補佐	課長			
平 成 2 7 年 度	18人	15人	13人	13人	7 人	9 人	75人	9 人	84人
平 成 2 8 年 度	22人	12人	11人	14人	8 人	9 人	76人	8 人	84人

（各年度とも4月1日現在）

●勤務時間（標準的な職員）

開始時刻	終了時刻	休憩時間	1 日の勤務時間	1 週間の勤務時間
8 時15分	17時00分	12時～13時	7 時間45分	38時間45分

●休暇制度

年次有給休暇、病気休暇、特別休暇（公民権行使等休暇、証人等出頭休暇、骨髓液提供休暇、ボランティア休暇、婚姻休暇、産前産後休暇、授乳等休暇、出産介護休暇、慶弔休暇、夏季リフレッシュ休暇、災害休暇、事故休暇、生理休暇、妊娠症状対応休暇、母子健康診断休暇、母子健康維持休暇、感染症予防休暇、短期介護休暇）、介護休暇、組合休暇、育児休業、部分休業

●年次有給休暇の取得状況（平成27年）

平均取得日数	消化率
7.2 日	18.7 %

●職員の分限および懲戒処分状況

区 分	分限処分			懲戒処分			
	免職	休職	降任	免職	停職	減給	戒告
処分者数	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

平成29年の裁判員候補者名簿に登録された方は、本年11月中旬に名簿に登録されたことの通知（名簿記載通知）をお送りします。（平成29年1月1日時点で20歳以上の方に限られます。）この通知は、来年2月頃から平成30年2月頃までの間に裁判所にお越しいただき、裁判員に選ばれる可能

裁判員候補者名簿記載通知について

裁判員候補者名簿は、市区町村の選挙管理委員会が選挙人名簿からくじで無作為抽出した名簿を基に、全国の地方裁判所で作成されます。平成29年の名簿に登録される人数は、全国で約23万3600人です。（選挙人名簿登録者全体に占める割合は、約456人に1人です。）

裁判員候補者名簿ができるまで

裁判員制度

「まもなく名簿記載通知を発送します」



性があることを事前にお伝えし、あらかじめ心づもりをしていただくためのものです。この段階では、まだ具体的な事件の裁判員候補者に選ばれたわけではありませんので、すぐ裁判所にお越しいただく必要はありません。また、名簿記載通知と併せて調査票をお送りします。この調査票は、裁判員候補者の方の事情を早期に把握し、調査票の回答の内容により、1年を通じて明らかに辞退が認められる場合等には裁判所にお越しいただくことのないよう、裁判員候補者の方々の負担を軽減するために送りするもので、お尋ねする項目に当てはまらない方は、返送していただく必要はありません。辞退の申出ができる時期や期間等に何らの制限を設けていないわけではありません。この調査票で辞退を申し出なかった場合でも、実際の事

●裁判員制度ウェブサイト

<http://www.saibanin.courts.go.jp/>
（名簿記載通知や調査票、辞退を申し出ることができる事由等に関する情報はこちらからどうぞ）

●裁判員ウェブサイト

<http://www.courts.go.jp/>
（各地の裁判所のウェブサイトは、こちらのウェブサイトよりどうぞ）

件の裁判員候補者に選ばれた際にお送りする質問票で辞退を申し出ていただくことも、裁判所で行われる選任手続きの際に辞退を申し出ていただくことも可能です。裁判員制度にご理解ご協力をお願いします。

【問合せ】
静岡地方裁判所事務局総務課
054（251）6241

11月30日は年金の日

11月30日は、ご自身の年金記録や年金受給見込み額を確認し、老後の生活設計について考えていただく「年金の日」となっています。ぜひ、この機会にご自身やご家族の加入状況を確認してみてください。

ねんきんネット

これまでの年金記録や年金の見込み額を確認することができます。「ねんきんネット」のご利用には、登録が必要です。日本年金機構ねんきんネットのページの「新規ご利用登録」ボタンから手続してください。

出張年金相談

三島年金事務所の職員が相談員として、年金に関する相談会を開催しています。これまでの加入記録や受給見込み額、年金請求の手続き等ができます。

【年金相談】

今後の年金相談の日程は、次表のとおりになります。

※ご本人様以外の方が相談される場合、委任状が必要となる場合があります。

※出張年金相談では共済年金に関する記録が確認できないため、共済組合等に参加されている期間について回答できないことがあります。

相 談 日	場 所
平成28年11月17日(木)	松崎町役場
平成29年 1 月27日(金)	
平成29年 3 月24日(金)	

年金額アップ・
受給資格を得るためには

○後納制度

過去5年以内の国民年金保険料の納め忘れについて、申し込みにより、平成27年10月から平成30年9月までの3年間に限り国民年金保険料を納めることができます。60歳以上65歳未満の方の任意加入中の保険料や、65歳以上で受給権がなく任意加入中の方等もご利用できます。

○追納制度

全額免除や一部免除（一部納付済み）、納付猶予等の承認を受けた期間について、10年さかのぼって納付ができます。後納制度、追納制度の申込書は役場にもご用意しておりますので、利用される方は健康福祉課までお越しください。



国民年金保険料は 社会保険料控除の対象となります

納めた国民年金保険料は全額
が社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は、健康保険や厚生年金等の社会保険料を納めた場合と同様に、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除の対象となるのは、平成28年1月から12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、ご自身の保険料だけではなく、配偶者やご家族の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

平成28年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるためには年末調整や確定申告を行うときに、領収書等保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

社会保険料(国民年金保険料)
控除証明書を送付します

このため、平成28年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には、11月上旬頃に日本年金機構から「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が送られますので、申告書の提出の際には必ずこの証明書または領収書を添付してください。(平成28年10月1日から12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納付された方へは、翌年の2月上旬頃に送られます。)

国民年金は、老後はもちろん不慮の事故等、万一の時に備えて納め忘れないようキチンと納めましょう。

【問合せ】

三島年金事務所
055(973) 1444
健康福祉課(42) 3966

地震に備えて家具を固定しましょう (災害時要配慮者世帯家具固定推進事業)



町では、家具の転倒による被害の軽減を図ることを目的に、高齢者世帯等を対象に、町が委託した事業者による家具の転倒防止器具を無料で取り付ける事業を行っています。この制度を利用し、安全な住まいづくりを進め、防災対策の推進に努めましょう。

【対象世帯】

1. 65歳以上の高齢者のみの世帯
2. 次のいずれかに該当する人を含む世帯
 - ・身体障害者手帳の交付を受けている人
 - ・療育手帳の交付を受けている人
 - ・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人
 - ・障害厚生年金・障害基礎年金の受給権がある人
 - ・要介護・要支援の認定を受けている人
3. 母子家庭世帯（児童扶養手当受給者）

※利用は、1世帯あたり1回限りです。

※賃貸住宅では、家主等の了解が必要となります。

【対象家具】

タンス・本棚・食器棚・テレビ・冷蔵庫等（1世帯5品まで）

※壁の材質等により取り付けができない場合もあります。

【申し込み】

事業実施を希望する方は、12月6日（火）までに役場総務課へご連絡ください。申し込みから取付（施工）までの流れは、後日、閲覧するチラシをご覧ください。

対象世帯ではない世帯へは、補助金を支給していません。
補助率 2分の1
（補助限度額3万円）
詳しくは、総務課までお問い合わせください。

【問合せ】

総務課（42） 3963

11月～12月は、滞納整理強化月間

税金は、まちづくりを支える大切な財源です。

多くの方が、決められた納期限までに納付していますが、残念ながらさまざまな理由で滞納している方もいます。平成27年度末までに積み重なった滞納税額は、町税全体で1億3千万円を超えています。

こうした中、県内の全市町は、静岡県と連携して、きちんと納税している方との公平性を確保するため、11月から12月までの2カ月間を『滞納整理強化月間』に設定して徴収を強化します。

町では、この期間中、4月に発足した賀茂地方税債権整理回収協議会「特別滞納整理チーム」と共同して、催告書の送付により自主納付を促すとともに、預貯金、給与、生命保険等の差押えについても強化します。

また、静岡県下田財務事務所でも、県税の滞納者に対し

て同様の取組を実施します。

左の表は、これまでに「特別滞納整理チーム」が行った賀茂地区全体の滞納整理の実績です。引き続き徹底した財産調査と差押えを実施していきますが、納付できない事情のある方は、お早めにご相談ください。

財産調査実績

区分	件数
預貯金等	11,574件
生保・損保	10,466件
給与等	51件
その他の	498件

差押実績

区分	件数	金額
預貯金等	130件	29,490千円
生保・損保	43件	
給与等	7件	
その他の	50件	

【問合せ】

窓口税務課（42） 3968
下田財務事務所納税課（24） 2019

下田税務署からのお知らせ

○年末調整等説明会（法人および個人の白色申告者）

とき	ところ	時間
11月21日（月）	環境センター文化ホール	13:30～15:30

○青色申告決算等説明会（個人の青色申告者）

とき	ところ	※時間
11月22日（火）	下田市民文化会館大会議室	①10:00～12:00 ②13:30～15:30

※①と②は同じ内容です。

平成28年分の青色申告決算書用紙は、確定申告書用紙等に同封されます。

説明会に関する書類は、対象となる方に事前に送付しますので、当日必ず持参してください。不足する書類がある場合は、説明会場または下田税務署で配付します。
税務署への電話は自動音声によりご案内していますので、質問は「2」を選択してください。

【問合せ】

下田税務署（22） 0185

My Town Topics ～まちのできごと～



敬老の日のお祝い

9月19日の敬老の日を中心に、町内各区で敬老の日を祝う行事が行われました。

今年度、松崎町では、喜寿が94人、米寿が82人、白寿が1人いらっしゃいます。



第33回長八フェスティバル

9月25日、長八美術館周辺で、長八フェスティバルが開催されました。全国漆喰鍍絵コンクール表彰式、中宿通りも含めたサービスコーナーや演芸大会等、多くの来場者で賑わいました。



常葉大学連携講座

10月1日、常葉大学社会環境学部教授を講師に、「ふれあいと一ふや。」および環境改善センターにおいて、「防災と地域づくり」をテーマとした講座が開講されました。



ひめの里交流「響きの和」

10月9日、コノハナサクヤヒメとイワナガヒメが祀られていることを縁に、富士宮市にて合同交流イベントが行われ、両市町の太鼓団体の演奏が披露されました。

10月6日（木）から8日（土）の3日間、「日本で最も美しい村」連合のフェスティバルが開催され、全国57の町村、地域、連合の趣旨に賛同する企業等から約300人の方が当町を訪れました。

町長室からこんにちは ⑧③

松崎町長
齋藤 文彦

今後も加盟地域の皆様と連携しながらも切磋琢磨し、町を活性化させる施策を実施していく所存ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

知事の基調講演や町内の見学会を通じ、来町されたお客様に松崎の魅力を十分に伝えられたと実感しています。このフェスティバルが成功裏に終えることができたのは、町民の皆様のご協力によるものと深く感謝いたします。

連合には、小さくても光り輝く特色あるまちをつくっていくという志をもった地域が加盟しています。こうした加盟団体と情報を共有し、今日ま

「日本で最も美しい村」連合フェスティバル

で町を活性化させる成功事例等の収集、分析を行ってきました。

町では、これから平成29年度の予算編成をしていきます。

こうした連携により得た事例を取り入れ、予算化することにより、町民の皆様

に町の変化を実感していただけるよう行政経営のかじ取りを行っていききたいと考えています。

日々「漆喰」と向き合い、後世へつなぐ――

中村 一夫さん（中村）

キラリ、輝き人 No.23



▲「鏝絵」制作の様子

Profile

なかむら かずお さん

昭和36年から左官職人として仕事を続け、個人の住宅や町の施設等の壁塗り、修繕等を行っています。また、時間をみつけては倉庫に出かけ、鏝絵の作品を仕上げています。

中村さんは、地元中学校を卒業後、左官職人として仕事をしてきました。現場で親方から仕事を習いながら覚え、新築の家の壁塗りや修繕をしてきたそうです。松崎町は「なまこ壁」が有名ですが、その修繕にも携わっています。なまこ壁を含めた左官

の様子について聞くと、「漆喰でできた壁は強く、伝統的で健康にも良いです。昔は火事が多かったですが、

大切な米を保管するために、蔵等になまこ壁が使われました。今は、なまこ壁を作ったり直す機会は少なくなりましたが、後輩たちが仕事を覚え、なまこ壁の建造物を守るためにも、仕事が増

えるといいと思います。そのためには役場の補助も必要ですし、後継者として仕事をしたいという人も出てきてほしいです」と話してくれました。

また、中村さんは毎年、「全国漆喰鏝絵コンクール」にも出品していて、今年は「優秀賞」を受賞されました。「鏝絵」としての漆喰との関わりについて聞くと、

「鏝絵を始めたのは、このコンクールが始まったことがきっかけです。それまでは鏝絵を作ったことはありませんでした。始めてみて入江長八の作品を見に行くと等勉強するようになりました」と話してくれました。

そして、鏝絵の魅力や作品作りについて聞くと、「だんだんと作品が完成していくのが楽しく、夢中になります。しばらく休もうと思っても、また次の日には始めてしまう程です。漆喰の味や良さを出すよう色をつけず、今後も松崎の建物を中心に鏝絵に取り組んでいきたいです」と話してくれました。

姉妹都市通信

帯広市から
依田勉三の里帰り

松崎町出身で、晩成社を結成して帯広市の開拓に尽力した依田勉三翁。彼は丁寧な筆致で、ほぼ毎日、日記を残しています。勉三が松崎町に里帰りしたときの記録を見てみましょう。

明治25年11月16日に十勝を

出発。途中東京に滞在し、12月31日に松崎町に帰ってきました。鉄道で沼津にやって来て、そこから松崎丸に乗り込み、海路で松崎に至りました。依田家のある大沢には夜に到着。約6年ぶりの帰郷でした。

翌日の元日は、勉三は兄佐二平とともに、帰一寺や中瀬家等に新年のあいさつに赴き、松崎で一泊。翌日は岩地・岩科・道部の家を訪ねます。久しぶりに顔を見せた勉三は、開拓の様子をたくさん聞かれたのではないのでしょうか。

その後は5月5日に出生するまで、のんびりと里帰りを楽しんだようです。1月15日には「家兄（佐二平）ト談話シ遂二天城行キヲ決ス」と、

兄弟で天城山へ登山しています。ほかに、兄弟一緒に鎌倉の円覚寺に参詣したり、東京に出掛けたり、大沢にある玉林寺で芝居を見たことも日記に記されています。そのほか、佐二平・勉三の弟である善吾の北海道行き等、開拓について話し合いもたれました。

松崎町で英気を養ったのち、函館で牛肉店を経営したり、東京でバターを販売したりと、勉三は兄弟の補佐を得ながらさまざまな事業にチャレンジします。

勉三の緻密な記録からは、遠く離れても、ふるさとの松崎町を忘れることなく、地元の種類、縁者とのつながりを大切にしていたことがうかがえます。



『備忘』第7巻表紙
勉三手作りの日記帳。第7巻は松崎帰省中に作成しました。

ストップ！悪質商法被害～あなたも賢い消費者に⑤～

改めてみる消費者トラブルの最近の状況

1 消費者トラブルに関する「2つのキーワード」

最近の消費者トラブルの特徴を表すと、「超高齢社会の到来」と「インターネット取引の普及」の2つがキーワードといえます。以下、それぞれの特徴をみていきましょう。

2 高齢者をねらうトラブル

日本の人口に占める高齢者（65歳以上）の方の割合は現在約27%であり、今後も上昇する見込みです。こうした中で、高齢者にとって関心の高い「健康」（例、怪しげな健康食品等の睡眠療法）、「資産」（例、CO2排出権取引等詐欺的な投資勧誘）、「自宅」（例、不必要なリフォーム工事の勧誘に

3 インターネットに関連するトラブル

申し込んでいないのに「申込完了」として高額の利用料金の請求を受けるアダルトサイト架空請求や、実在するかのように装って、「会うために必要」として高額の支払いをさせるスクラサイト詐欺、インターネットオークション、SNSの広告によるトラブル（例、無料サンプル品注文の振込が定期継続購入等、さまざまなトラブル

4 おわりに

消費者トラブルの手口はこれまでの連載で紹介したように、次々に新たな手口が発生している状況です。こうした被害に遭うことのないよう、本連載の記事が今後皆様のお役に立てるようであれば幸いです。



© Shigeki Yamada

（文と絵）
司法書士
山田茂樹

【問合せ】

企画観光課（42） 3964
※このコーナーは、今後、隔月の掲載になります。（次回：平成29年1月号）

町の人口と世帯

（平成28年9月30日現在）
（ ）内は前月比

総人口	7,033人	(-5人)
男	3,331人	(-8人)
女	3,702人	(+3人)
世帯数	3,016戸	(-3戸)
転入	9人	転出 9人
出生	4人	死亡 9人

（9月届出分）
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
伏倉	凜	女	山本夕海
北区	穂澄	男	山本幸之助
江奈2	和夏	女	小林俊博
江奈2	唯織	男	原一成

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	金指鉄男	77	宣子
門野	鈴木運雄	92	なつ子
江奈2	福本佐久平	101	高文
江奈4	糸川和夫	83	エミ子
西区	山田武雄	92	千代子
南区	藤井久子	84	岩見美穂

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成28年9月発生分

（ ）内は前年同月比

人身事故	1件	(-1)
物損事故	12件	(±0)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-1)

ポロリ落つ食すひとなき葉の実
一撃を下界に落す秋の雷
軍服の遺影の若き十三夜
児童等の歯並び光る九月かな
彼方より貰ふ類笑み後の月
シルバーカー連ねてゆくや敬老日
片祀りせぬが慣ひと十三夜
鎌をけばすかさず止る赤とんぼ
はるかなる李白を想ふ十三夜
花笑みのやがて妖しき曼珠沙華
対岸の遠灯背に十三夜
みそ汁の具にと宗太とタマネギと
虫の音に飛び込むごとく夜を走り
琉球や若き男女の十三夜
想う事語りかけをり十三夜

土屋規矩子
石田宏
吉岡うた子
細矢金治
斉藤みつ子
佐藤享
夏目和子
小林一男
依田ふじ枝
鈴木基
松田美智子
高橋信夫
清水高子
山本一詞
稲葉菊恵

松崎文芸

俳句

広報まつぎ

二〇一六年十一月一日発行
通刊 第六三〇号

〒四二一三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎〇五〇四二一三九六四 〇五〇四二一三三八三

発行 静岡県松崎町 編集 企画観光課
印刷 (株)山本印刷